

9月15日～19日 米国・チャタヌーガ市友好訪問団来遠

## 姉妹都市へ向け交流スタート

1990年から、中高生などの海外派遣事業で交流を続けている米国テネシー州チャタヌーガ市。同市から、長年交流の橋渡しをしてきたルーザ・メシッチさんと友好訪問団9人が、本市を訪れました。訪問団は、姉妹都市提携を望むチャタヌーガ市長の親書を携えて来遠。16日は、遠野高と遠野緑峰高の生徒と高校生派遣事業について意見交換会、同日夜は歓迎会が開かれました。一行は、17日から開催された遠野まつりにも参加。郷土芸能パレードや流鏑馬を見学しながら、市民との交流を深めました。

訪問団の一員であるアレックス・ヒューイさんは、国際化推進支援員として一年間本市に滞在。さまざまなPR活動を通じて、両市の交流をさらに進展させます。



I'm Alex Hughey.  
アレックス・ヒューイです。  
Nice to meet you.  
よろしくお願ひします。

とびあ庁舎に友好訪問団が表敬訪問。姉妹都市提携に向けての交流がスタートしました

アレックス・ヒューイさん

9月3日 奇跡のフォーラム(同実行委員会主催)

## 無農薬栽培の夢を語る

市民センターで同フォーラムが開催され、県内外から600人が参加しました。ローマ法王に米を食べさせた高野誠鮮氏、通年昼夜型放牧を行い山地酪農の未来を切り開いた中洞正氏、不可能と言われた無農薬リンゴをつくった木村秋則氏が活動を紹介します。自然栽培の大切さを訴える3人の話に、参加者は耳を傾けていました。



無農薬農法について熱弁する木村さん

9月15日 交流すまいる給食

## おいしい地元食材に感謝!

市内産の食材を取り入れた「交流すまいる給食」が市内小中学校で提供されました。今回は、希望郷いわて国体に向けた「おもてなしレシピ」から考案された献立が振る舞われました。小友小学校では、地元の生産者や給食関係者も児童と一緒に試食。地元の人と会話をしながら、栄養満点の味を堪能しました。



「いただきます!」と給食を味わう児童たち

9月1日 達曽部地区センター開所

## 達曽部に市民協働の拠点設置

宮守町の達曽部多目的研修集会施設内に、達曽部地区センターの事務所が開かれました。開所式には地域住民ら50人が出席し、新たな市民協働の拠点に期待を寄せました。2人の市職員が常勤し、地域づくり団体などと連携した地域活性化に取り組みます。★問い合わせ/達曽部地区センター(☎ 69-5055)



テープカットで開所を祝いました

9月1日 遠野ローカルベンチャースクール事業

## 起業目指し、遠野で挑戦!

市は、地域おこし協力隊員が起業に向けた育成プログラムに取り組む「遠野ローカルベンチャー事業」を開始します。この日は、新たに着任する10人に本市場長から辞令を交付。隊員は今後3年間、地域や企業と連携しながら7つの地域活性化プロジェクトに取り組み、将来的に起業による定住・自立を目指します。



起業を目指す隊員の皆さん

9月1日 第18回「わたしの主張遠野地区大会」

## 自分の思いを言葉に込めて

遠野中体育館を会場に開催され、市内全3中学校から9人が出場。自分の夢や、学校生活で感じたことなどについて力強く発表しました。最優秀賞は、「1/1の個性」と題して発表した小田島芽衣子さん(遠野3)。芽衣子さんは、学校生活を通して感じた障がい者の人権と平等について主張し、「障がいはいは『個性』と訴えかけました。



表情豊かに主張する小田島さん

8月28日 第34回遠野じんぎすかんマラソン

## 遠野路をランナー駆け抜ける

昨年より約200人多い1,634人のランナーが出走し、遠野路をさわやかに駆け抜けました。市民センター発着の3・5・10kmのコースで、全14部門を実施。上位目指し懸命に走る姿に、沿道から盛んな声援が送られました。ゴールしたランナーには遠野名物のジンギスカンが振る舞われ、参加者は舌鼓を打ちました。



号砲とともにスタート!

8月・9月 遠野ホップ収穫祭2016&初仕込み式

## 遠野産ホップの収穫を祝う



遠野産ホップの収穫を祝う、多彩な催しが行われました。

遠野ホップ収穫祭2016(TKプロジェクト実行委員会主催)は8月27・28の両日、蔵の道広場特設会場で開かれました。ビールや地元産材を使用した料理の販売、ドイツ楽団などによる生演奏などを展開。市内内外からビールファン4,500人が訪れ、ホップの収穫を盛大に祝いました。

収穫したホップを使用する「キリン一番搾りとれたてホップ生」(以下、とれたてホップ生)の初仕込み式は、9月12日、仙台市のキリンビール仙台工場で開催。出席した関係者ら100人は、遠野産ホップを醸造釜に投入し、良質のビールの完成を願いました。

とれたてホップ生は、63万ケース(8千箱)製造され、10月25日から全国販売される予定です。

1\_収穫祭でキリンビール樽の谷川満醸造担当部長にホップバトンを手渡す佐々木悦男遠野ホップ生産組合長 2\_収穫祭は暑い2日間に 3\_仕込み式で遠野産ホップを醸造釜に投入する本市場長 4\_今年のとれたてホップ生のデザイン



## 希望郷いわて国体が開幕!

第71回国民体育大会「2016希望郷いわて国体」は10月1日に開幕し、北上市総合運動公園陸上競技場で総合開会式が開かれました。式典には、選手や関係者、観客ら約2万人が参加。多彩な催しを通じ、東日本大震災の支援への感謝の気持ちを全国に発信し、復興へ向け力強く進むことを誓いました。オープニングイベントのわんこdeダンスには、遠野一輪車クラブが、ユニサイクルいわての一員として参加。

元気いっぱいのダンスで会場を盛り上げました。選手団入場では、遠野の選手も堂々と行進。本年6月に各町で採火し、7月の100日前イベントで誕生した本市の炬火は、県内33市町村の炬火と共にまとめられ「希望郷いわての火」として誕生しました。本市でのサッカー競技少年男子の模様や、遠野の選手の活躍は、広報遠野11月号(11月4日発行)で詳しくお知らせする予定です。



1\_多彩なイベントを通じ、全国からの支援に感謝 2\_遠野一輪車クラブも出演 3\_炬火「希望郷いわての火」が灯されました 4\_堂々と入場行進する本県選手団